



岐阜県退職公務員連盟

可児支部広報

令和6年度 第7号 11月18日



ど た し ろ や ま と う さ ん ど う は ね ば し 土田の城山と東山道の刎橋を見学

秋季研修会を、11月16日(土)に右記のように実施しました。

見学場所は、文明年間(1469~86)に土田義久によって築かれ、生駒氏の山城となった土田の城山と、城山の下を流れる可児川にある東山道の要衝と言われた「刎橋」の跡です。心配していた雨も降らず、じっくりと見学することが出来ました。

- ◆ 9:00 広見「鈴川」集合
車3台に乗車し出発
- ◆ 9:30 土田大脇公民館に着き
城山と刎橋を見学
- ◆ 11:00 見学を終え、
土田大脇公民館を出発
- ◆ 11:20 広見「鈴川」に到着
- ◆ 11:30 親睦会



▲土田大脇公民館に集合



▲生駒氏三代の居城 土田城址



▲土田城の解説



▲東山道の道標



▲土田城址の解説

講師は可児支部役員(監事)の亀井喜久男さん

充実した資料と丁寧な説明ありがとうございました

土田在住の亀井喜久男さんは、土田地区センターの「土田の歴史講座」の講師をしてみえます。土田出身で四国高松城主となった生駒氏の足跡をたどる「戦国武将生駒氏の足跡」について、9月と10月に講座を持たれました。

担当者によると、日本史から世界史、そして数学につながるお話を、熱くしていただき、とても新鮮で面白かったとの感想をいただいているそうです。今回も、充実した資料を用意していただき、熱の入った丁寧でよく分かる説明をしていただきました。

ご存じだと思いますが、亀井さんは可児支部広報第2号で紹介した「エジプトひも」で、子どもたちを数学大好きにしている先生です。



▲講師の亀井さん

見学の様子



▲東山道で可児川へ



▲城山のすそにある五輪塔



▲城山の登り口



▲眼下に可児川を見る



▲可児川に降りる



▲旧刎橋のあった場所



▲可児川から上がり城山を眺める



▲現在の刎橋

東山道は滋賀～東北を結ぶ官道で、今回の研修で、その東山道が城山の下を通っていたことを知りました。その城山の下を流れる可児川に東山道の刎橋が架かっていたのです。土田の刎橋は、「土田の刎橋、太田の渡舟、碓水峠がなくばよい。」と昔の東山道を往来した旅人たちに唄で知られた難所です。よくこんな所に橋を架けたものです。馬が通るには本当に厳しい場所だと実感しました。

城山は、なかなかの急勾配で、今回は時間的な問題もあり登頂しませんでした。機会があれば登頂して、回りを眺めてみたいと思いました。



▲令和6年度秋季研修会記念写真（刎橋の横、城山を眺める場所にて）

秋季研修会は、参加者全員が大満足となる会となり、大成功でした。計画立案され、配車等を担当された皆様に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

今後も、会員の要望をより大切に、大満足となる研修会を実施していきたいと思ひます。ご支援・ご協力よろしくお願い申し上げます。

